

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2004-504028(P2004-504028A)

【公表日】平成16年2月12日(2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2004-006

【出願番号】特願2002-512355(P2002-512355)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	31/7115	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/566	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	31/7115	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/566	
C 1 2 N	5/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月17日(2008.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】NCBI Accession No. X02419のヌクレオチドポジション 1～ヌクレオチドポジション 1226 のヌクレオチド配列を有している核酸分子の一部分に存在する少なくとも一つのCpGアイランドに厳密に相補的である核酸配列を含む15～150ヌクレオチド長のオ

リゴヌクレオチドであって、前記オリゴヌクレオチドは：

(i) 哺乳類細胞において前記核酸分子の前記部分と安定な複合体を形成し；
(ii) 前記CpGアイランドのグアノシンに相補的なー以上の5-メチル化シトシンを含む；

オリゴヌクレオチド。

【請求項2】 前記オリゴヌクレオチドは前記部分に厳密に相補的である、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項3】 15~60ヌクレオチド長である、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項4】 15~30ヌクレオチド長である、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項5】 前記部分がプロモータ領域を含む、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。

。 【請求項6】 前記部分が配列番号7のヌクレオチド配列を含む、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項7】 前記部分が5'-GGCGGのヌクレオチド配列を含む、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項8】 前記オリゴヌクレオチドがー以上のヌクレオチドアナログを含む、請求項1に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項9】 前記ヌクレオチドアナログがホスホチオエート、メチルホスホネートまたはP-エトキシホスホナートである、請求項8に記載のオリゴヌクレオチド。

【請求項10】 NCBI Accession No. X02419のヌクレオチドポジション 1~ヌクレオチドポジション 1226 のヌクレオチド配列を有しているヌクレオチド分子の少なくとも一部分を増幅する方法であって、以下を備える方法：

(a) プライマーのペアをDNA試料と接触させることと(ここで、前記プライマーは、NCBI Accession No. X02419のヌクレオチドポジション 1~ヌクレオチドポジション 1226 の少なくとも一つのCpGアイランドに隣接するヌクレオチド配列に特異的にハイブリダイズする)；

(b) 前記ヌクレオチド分子の少なくとも一部分をメチル化感受性の増幅によって増幅すること。

【請求項11】 前記プライマーがメチル化感受性のプライマーである、請求項10に記載の方法。

【請求項12】 前記部分がNCBI Accession No. X02419のヌクレオチドポジション 592~891 の核酸配列を含む、請求項10に記載の方法。

【請求項13】 前記部分が配列番号7のヌクレオチド配列を含む、請求項10に記載の方法。

。 【請求項14】 前記部分が5'-GGCGGのヌクレオチド配列を含む、請求項10に記載の方法。

【請求項15】 前記部分がCpGアイランドの20 ヌクレオチド内のプライマーを用いて増幅される、請求項10に記載の方法。

【請求項16】 NCBI Accession No. X02419のヌクレオチドポジション 1~ヌクレオチドポジション 1226 のヌクレオチド配列を有している核酸分子の一部分における少なくとも一つのCpGアイランドに厳密に相補的である核酸配列を含む15~150ヌクレオチド長のオリゴヌクレオチドを含んでいる単離された細胞であって、前記オリゴヌクレオチドは：

(i) 哺乳類細胞において前記核酸分子の前記部分と安定な複合体を形成し；
(ii) 前記CpGアイランドのグアノシンに相補的なー以上の5-メチル化シトシンを含む；

単離された細胞。

【請求項17】 請求項1に記載のオリゴヌクレオチドを具備するキット。

【請求項18】 前記オリゴヌクレオチドは前記部分に厳密に相補的である、請求項17に記載のキット。

【請求項19】 前記部分がNCBI Accession No. X02419のヌクレオチドポジション 592

~891 の核酸配列を含む、請求項17に記載のキット。

【請求項20】前記部分が配列番号7のヌクレオチド配列を含む、請求項17に記載のキット。

【請求項21】前記部分が5'-GGCGGのヌクレオチド配列を含む、請求項17に記載のキット。

【請求項22】前記オリゴヌクレオチドは前記部分に厳密に相補的である、請求項16に記載の単離された細胞。